

# 住みよい高砂・駅周辺地区のまちづくり 駅周辺地区勉強会ニュース

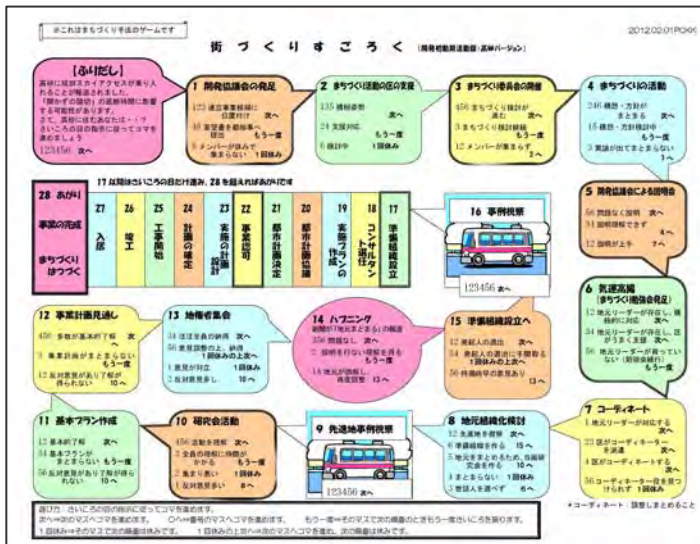
第3号 平成24年5月

## 平成23年度勉強会の取り組みを ご報告します

平成23年度、駅周辺地区まちづくり勉強会では、7回の会合を開催しました。鉄道立体化が行われたまちの事例として青砥駅周辺を検討したり、街づくりすごろくで事業化に向けた流れを検討したり、今後の方向性を確認することができました。

事例視察では、各地のまちづくりの取り組みを学び、まちづくりには、住民の熱意と行政との協力で、一歩ずつ進めていくことが必要であることがわかりました。

勉強会ニュース3号では、平成23年度の検討のまとめを、ご報告します。



街づくりすごろくで事業の流れを検討しました  
(第5回勉強会)

### 平成23年度 駅周辺地区勉強会の経過

#### ■第1回勉強会

- ・平成23年10月26日
- ・事例視察（石神井公園駅周辺・東池袋4・5丁目地区のまちづくり）

#### ■第2回勉強会

- ・平成23年11月9日
- ・ケーススタディ：青砥駅周辺のまちづくり

#### ■第3回勉強会

- ・平成23年12月8日
- ・青砥駅周辺のまち歩き

#### ■第4回勉強会

- ・平成23年12月15日
- ・事例視察（武蔵小山駅周辺と林試の森公園周辺・東京臨海広域防災拠点「そなエリア東京」）

#### ■第5回勉強会

- ・平成24年2月1日
- ・街づくりすごろく

#### ■第6回勉強会

- ・平成24年3月8日
- ・事例視察（東京スカイツリー・曳舟駅周辺のまちづくり）

#### ■第7回勉強会

- ・平成24年3月23日
- ・事業手法の学習（共同化）

発行元：高砂地区開発協議会 会長 本田幸一

協力：葛飾区都市整備部街づくり推進課高砂地域整備担当

(担当：田中・中村・飯田)

電話 03-5654-8344 (直通)

03-3695-1111 (内線 3412)

ファックス 03-3697-1660

〒124-8555 葛飾区立石 5-13-1

# 平成23年度の勉強会のまとめ 『駅周辺地区のまちづくりの方向性』を確認しました！

## ★駅周辺地区のまちづくりの方向性★

### まちづくり基本構想・方針を展開

- ・まちづくり基本構想（平成20年）の具現化
- ・まちづくり方針（平成22年）による取組み

### 鉄道立体化を契機としたまちづくり

- ・駅前広場やアクセス道路の整備
- ・駅前の顔づくり・賑わい創出

### 駅前の賑わいを周辺に波及させるまちづくり

- ・駅前だけでなく周辺の商店街への好影響を
- ・地元の人々が住み続けられる事業手法を
- ・高砂の潜在力を発揮できるまちづくりを

第5回勉強会では、まちづくりゲームとして「街づくりすごろく」を行ない、事業の流れを体感しました。

第7回勉強会では、これまでの勉強会を通じて寄せられた質問に対して応える形で、「事業化の一般的な流れ」や駅周辺の都市環境改善のための「共同化事業」を学習しました。

1年間を通じて、鉄道立体化を求めるだけでなく、それを契機とした駅前広場やアクセス道路の整備、そして駅前の顔づくりによる駅周辺の活性化が必要であることを確認しました。また、事業を具体化していくための事業手法を今後とも研究していくことを確認し、今年度のまとめとしました。

## ● 学んできました！ 事例視察（第6回勉強会）

3月8日（木）に今年度3回目の事例視察を行ないました。31人が参加し、墨田区のスカイツリーと曳舟駅周辺のまちづくりを視察しました！

### 東京スカイツリーを核としたまちづくり （押上・業平橋駅周辺のまちづくり）



東京の新名所スカイツリーや、商業施設、水族館、ドームシアターなどのある複合商業施設「東京ソラマチ」など、国際的な観光拠点をめざしたまちづくりが進んでいます！



駅前商業地としてのまちづくりは、駅前広場の整備と共に大規模店舗と地権者の商店が併存するまちづくりを進めています。

### 曳舟駅周辺のまちづくり （駅前広場整備と5つの連続した再開発）



新しくなった商店街の通り

## …まちの課題と課題解決の方法、検討の進め方…

### 基盤整備の視点から

- バス・タクシー等により乗り換えやすい“交通結節点”にする
- 鉄道高架化にあわせて、駅前広場や道路を整備することが必要

### 賑わい創出の視点から

- 鉄道高架化のタイミングを逃さず、新しい“まちの顔”をつくる
- 駅とまちがつながり、周辺商店街へにぎわいを広げていくことが必要

### 高砂駅周辺で取り組むべき方向性

- ・鉄道だけ、商業施設だけではなく、鉄道高架化をきっかけに基盤とにぎわいづくりの両方に街ぐるみで取り組み、駅と周辺市街地が一体となった面的なまちづくりに広げていくことが必要

### 高砂駅周辺での勉強会の進め方

- ・駅前まちづくりに向けた具体的なコンセプトの形成
- ・地元関係者の勉強会継続、事業手法への理解



第5回勉強会の様子



第7回勉強会の様子

## 平成24年3月11日（日） 高砂音楽祭

### ● まちづくりのPR活動に取り組みました！



テントに入れなほどの人が集まった場面もありました。



クイズも行いました。景品は家庭で使える防災グッズです！防災の備えも、まちづくりの大事な要素です。

高砂地区開発協議会・駅周辺地区勉強会・南地区勉強会は、高砂音楽祭に参加し、これまでのまちづくりの取組みの紹介とまちづくりアンケートを行いました。

アンケートには468人の方にご回答いただきました。開かずの踏切の解消、駅前広場の整備、買物の利便性の向上などが望まれていることがわかりました。



# 駅周辺地区のまちづくり・Q&A

まちづくりや鉄道立体化など、皆様のご質問にお答えします。

Q: 鉄道立体化は、今、どんな状況ですか？

京成高砂駅から江戸川駅間は、平成20年6月に、東京都において、鉄道立体化の事業化を目指す「事業候補区間」5区間のうちのひとつに選ばれました。現在、車庫の移転や鉄道の立体化について、東京都、江戸川区等各関係機関と事業化に向けた協議を進めています。

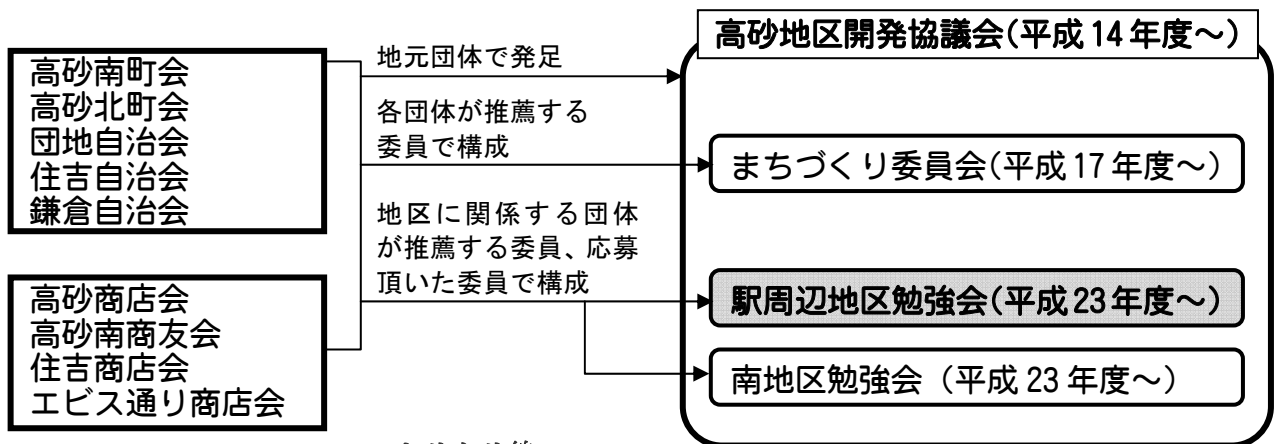
Q: 鉄道立体化とまちづくりは、どうして関係があるのですか？

鉄道が立体化することにより、鉄道で分断されていたまちが一体化し、これまで通れなかった部分に横断道路が整備され、まちの回遊性が向上します。また、側道や駅前広場等を整備することと併せてまちづくりを行うことにより、沿線地域の道路状況や生活環境が改善され、総合的なまちの再生、活性化に取り組むことができます。

Q: なぜ駅周辺地区で勉強会が発足したのですか？

駅周辺地区では、駅前広場や広場へ連絡する道路の整備、魅力的な商業環境の形成が課題です。駅前としての公共施設や商業地のあり方について検討するため、勉強会を発足しました。

Q: 高砂地区開発協議会と勉強会は、どんな構成になっていますか？



キリトリ線

駅周辺地区のまちづくりや勉強会についてのお問い合わせ、勉強会ニュース第3号を読んでのご感想・ご意見などがありましたらお知らせ下さい。

-----

-----

-----

-----

お名前：  
お電話番号：  
FAX：



高砂地区開発協議会事務局  
葛飾区役所 高砂地域整備担当  
FAX : 03-3697-1660